日本福祉大学と深圳信息職業技術学院 学術協力・交流に関する協定書

具体的な協力活動の詳細については、当事者間で協議して別途定める補足協定で明記する。

甲：(中国) 深圳信息職業技術学院

乙：(日本) 日本福祉大学

甲の紹介：

深圳信息職業技術学院は、深セン市人民政府が設立した全日制の公立高等教育機関である。学院は、現在中国の特色あるハイレベル職業学校・専門職建設計画（「両高計画」と呼ばれる）の第一期建設機関、国家模範（基幹）高等職業教育機関、国家模範ソフトウェア職業技術専門学校である。広東省・深圳市の優れた情報産業環境と科学技術革新システムに基づき、5G通信、人工知能、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、ブロックチェーン技術、集積回路、産業ソフトウェア、産業ロボットなど50の専攻を有し、同大学の工学系学科はESI世界ランキングの上位1%にランクインした。

乙の紹介：

日本福祉大学は日本の高等教育機関であり、日本の福祉教育分野における伝統を持つ先駆者として、福祉分野に関する教育を行う学部・学科を設置し、大学名もその専門性に基づいている。1953年に設立された日本福祉大学は、1957年に4年制となり、2023年に創立70周年を迎えた。日本初の社会福祉学部から始まり、現在では8学部、11学科、6研究科を擁する福祉の総合大学へと発展した。

両校は、日中両国人民の友情と相互理解を深め、両校の教育と科学研究の交流を促進するため、平等互惠の原則に基づき、以下のとおり協定を締結する。

- 双方は友好協力と平等互惠の原則に基づいて、協力関係を結ぶ。
- 双方は文化教育交流活動及び学生、教職員間の相互訪問を実施する。
- 留学生の相互受け入れについては、別に定める。
- 双方は、相互互惠の原則に基づき、必要と可能の範囲内で、共通に関心を寄せている学問分野の共同研究や、双方の学術交流を促進するための教職員の相互訪問を行う。
- 本協定の2～4で示す、教育連携・交流、共同研究の具体的なプログラム内容やその実施方法については、協議のうえ、別に定めるものとする。
- 本協定に定めのない事項および各条項の解釈に疑義が生じた場合は、甲乙互いに信義・誠実の原則に従い、協議・決定するものとする。
- 本協定は、両校代表者の署名調印後発効し、双方の協議によって、改正・廃止することができる。

2024年 12月 10日

甲方：深圳信息職業技術学院

乙方：日本福祉大学

代表署名

理事長署名

学長署名